

医師会臨床検査センターだより



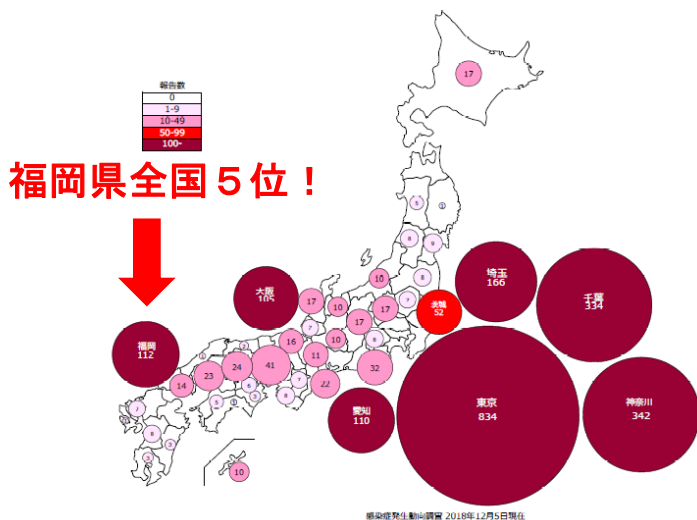
No.2018-03
2018年12月25日

風疹急増に関する緊急情報(続報)

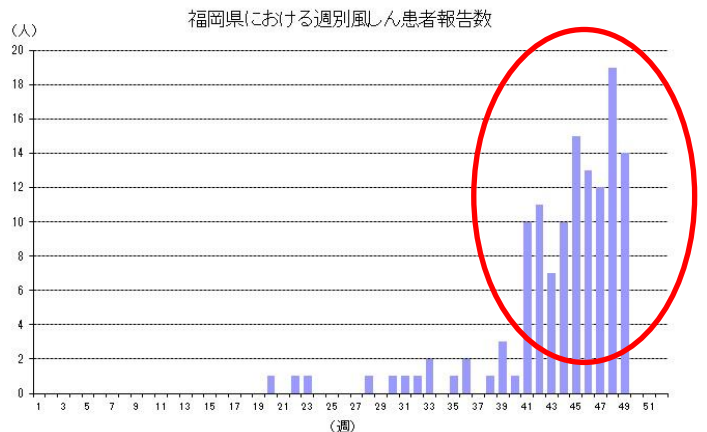
国立感染症研究所は2018年度の風疹患者数が2454人(12月5日現在)と発表し、全国的に感染が拡大していることから、注意を呼びかけています。都道府県別に見ると、東京、神奈川、千葉、埼玉の首都圏に次いで福岡県は全国5位となっており、12月3日から12月9日までの1週間に県内では14件の感染報告があがっています。これからの年末年始の時期は帰省などで人の動きが活発になり感染の拡大が懸念されるため、より一層の注意が必要です。

風疹は免疫のない妊婦が妊娠初期に感染すると胎児に先天性風疹症候群(CRS)という重篤な障害を引き起こします。風疹ウイルスは感染力が強いため、先天性風疹症候群の発生を防ぐには妊婦への感染を防止することが重要であり、将来妊娠を希望する女性はもちろん、パートナーや家族、職場などが一緒になって風疹対策をする必要があります。

都道府県別風しん累積報告数, 2018年 第1~48週 (n=2,454)

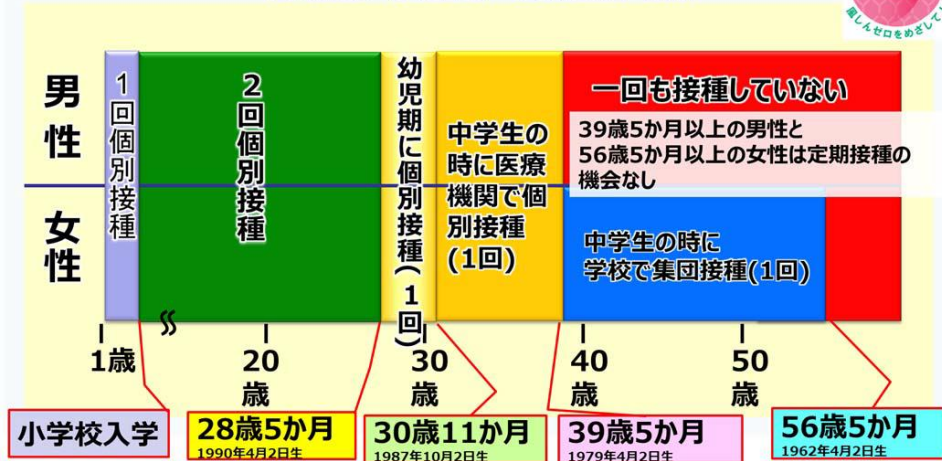


急増しています!



風疹のワクチン接種状況は生まれた年によって異なり、30~50代の男性は風疹の抗体価が低い方が2割程度存在すると言われています。過去に風疹にかかったことがあると考えている人のなかには、実際にかかったのは麻疹などの別の病気だったということもあります。また、感染しても症状が出ない場合が15~30%程度あると言われており、自分の抗体価を正しく知ることが重要です。風疹にかかったかどうかや、ワクチンを受けたことがあるか曖昧な場合は、まず風疹抗体検査で抗体価をご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
(平成30(2018)年9月1日時点)



参考文献：国立感染症ホームページ

厚生労働省ホームページ

福岡県庁ホームページ

当検査センターで受託している風疹検査

項目コード	検査項目	検体量	報告	実施料	検査方法
4022	風疹	血清(0.2mL)	4~6日	79(免疫)	HI
4157	風疹 IgG	血清(0.2mL)	3~5日	218(免疫)	EIA
4158	風疹 IgM	血清(0.2mL)	3~5日		

※詳細は検査の手びき 142 頁をご参照ください。

INFORMATION No.30034 でもご案内しました通り、全国的に検査受託数が急増しております。現在の受託検体数が継続しますと、確保している在庫試薬および入手可能な試薬では処理が間に合わず、受託中止を余儀なくせざるを得ない状況にあります。

つきましては、風疹ウイルス抗体検査(HI)の代替項目として、風疹ウイルスIgGおよびIgM(EIA)への切り替えについてご協力をお願いいたします。

尚、HI抗体価とEIA抗体価の換算表は以下の通りとなっております。

HI 抗体価	EIA 法 (EIA 価)
16 倍以下	8.0 (EIA 価) 未満
256 倍以上	45.0 (EIA 価) 以上
ペア血清の HI 抗体価で 4 倍以上の上昇	EIA 抗体価で 2 倍以上

※上記 EIA 法 (EIA 価) はデンカ生研(株)の EIA 測定キットを用いた場合です。



一般社団法人 福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1 目 6 番 9 号

TEL 092-852-1506 (代) FAX 092-852-1510